

# 学園職員の思い アンケートから

学園では被措置児童等虐待防止の一つとして毎年秋、「自身、他職員の虐待の有無」「心がけていること」「心が安らぐエピソード」について尋ねる職員アンケートを行っています。

複雑な家庭環境で育ち、対応の難しい子どもたち

を相手に職員は日々、業務に追われています。職員が時には自分の気持ちを抑制しながら、子どもたちに向き合うことが出来る糧になるのが、子どもたちが見せる優しさです。アンケートからその一部を紹介します。

## 青葉通信

第18号

発行  
社会福祉法人  
中日新聞社会事業団  
中日青葉学園



一人の担当児童が学校で素敵なメッセー

★担当児童と一緒にご飯を食べたいといい、毎回の箸を席に用意してくれる。  
★児童の居室掃除や面接処遇を意識して行い、子どもたちにも声がけをよく行っていた。うるさいな〜と思われるかな?と

### うれしかったこと

★自分の気持ちの乱れるときは、スタッフルームに行ったり、子どもとの距離をとる。  
★焦らない。専門職としての意識を持つ。子育ての経験はな

と態度で対応するようしている。



### 心がけていること

★子どものペースに乗せられないように声のトーンや伝え方は意識して変えている。  
★冷静さを失わないように。どんなに焦っていたり子どもものけんかや暴力があっても、冷静な口調

休む。

★休みの日にしっかりと

★子どもと相談する。もうの気持ちを考えてみる。



いが、「自分の子であれば、どうするか」を考え、関わっている。

★他職員に話を聞いてもらい、相談する。



★暴力は絶対駄目という意識。イライラしてきたら、その場を離れる。  
★深呼吸。自分には家族がいると、いつも考えている。

★隣のホームの様子を確認にいき、簡単なコミュニケーションを交わして戻って来る。全体を見回すことは、客観的な状況把握と気分転換(場面転換)にもなり、落ち着いて子どもと関わる方法の一つ。

★ジカードを作ってくれた。中には掃除機をかけている私の姿と綺麗な子どもたちの居室が折り紙や色鉛筆で作られており、「いつもおそうじしてくれてありがとう」これからのいきまです☆と書かれていた。少しでも子どもたちに



★Bさんが母の日に手紙をくれた。Cさんがおしそくなおかしが出てと分けてくれる。

★職員が体調不良の時、小学生が「何かお手伝いある?」と聞いてくれる。A君は特に「もっと俺らを頼っていいんだよ」と言ってくれた。

★一人で勤務に入っていて、夕食時にバタバタして片づけに手が回っていない時、高学年の子が小さい子に声をかけてくれたり、たくさん血洗いをやってくれた。



★「おコメには七人の神様がいらっしゃるから残したらいかん」と付け加えるように話した。そのことで、指摘された子どもも笑顔で残さないように食事ができた。

★食事指導で茶碗の米粒を残さないように話したところ、周りで聞いていた子どもが「おコメには七人の神様がいらっしゃるから残したらいかん」と付け加えるように話した。そのことで、指摘された子どもも笑顔で残さないように食事ができた。

★「準備は私たちがやるよ」と全てもやってくれた。今までで一番印象に残っている。



★担当でない男児がアイロニーの作品をプレゼンテーションしてくれた。



★運動会が親が来る予定だったのに来なかったD子に「来ないの?」と言ったE子。それに対して同じことを体験したF子が、「そう」と伝えた。もっとあるが、書き切れません。

### その他



★被措置児童虐待の話は、自分と全く縁がないものではないと思う。苦しい時、周りにヘルプが出るように。また、苦しんでいる人がいる時にすぐに気が付くように、日ごろから職員同士のコミュニケーションや「不適切な行為」は「虐待」や「焦り」「不安」「無力感(自己否定感)」から生まれるもの、と気づいた間違つても構いませんが、万が一、誰かに「虐待」不適切な行為」があった場合、現場の職員は、当事者だけではなく、自分たちにも原因があるのではないかと、という視点に立って検証し、客観的な予防策を見出す姿勢が必要と思う。また、そうなる前に、日々、お互いにカバリー合う職場となるよう自分の立場でできることを考えたい。



### 退所者調査研究報告

二十七年二月、両館合同研修として金城学院大学原教授が学園退所者調査研究の中間報告をしました。学園の開設から五十年を経て「児童養護施設等入所児童家族の生活課題の重層性について」中日青葉学園退所者の調査から」と題し、退所者約千百人の全体の傾向と退所から十年以上経過した退園

生のインタビューから見えてくる問題と課題が示されました。子どもの誕生から入所中、退所後、そして現在に至る折々のポイントについて考察、どのような支援が望まれるかの分析結果報告を受け、たあと、在園児童への支援に生かせる方策について話し合いました。



目録付になりましう。歓迎すべき  
やすことになりました。歓迎すべき  
ことです。が、福祉現場は虐待、ネグ  
レクトを受けた子を育て直すとい  
う、極めて難しい仕事であり、3年  
ほどで多くの職員が入れ替わるとい  
われています。人材確保、人材育成  
が大きな課題であり、職員が働きや  
すい環境を整えることを最優先にし  
たい、と考えています。(M)